



平成30年11月30日

航空局
道 路 局

財政投融資の活用による追加事業の実施について

現下の低金利状況を活かし、財政投融資を活用し、関西国際空港の防災対策や高速道路の暫定二車線対策等の機能強化を図ることとします。

このため、新関西国際空港株式会社に対する1500億円の財政融資及び日本高速道路保有・債務返済機構に対する1兆円の財政融資の追加要求をしました。

<問い合わせ先>

(関西国際空港の防災機能強化に関する事項)

航空局 航空ネットワーク部

課長補佐 鈴木 (内線: 49613)

代表: 03-5253-8111 直通: 03-5253-8729 FAX: 03-5253-1658

(高速道路の暫定二車線対策等の機能強化に関する事項)

道路局 高速道路課 企画専門官 河村 (内線: 38314)

課長補佐 久保 (内線: 38315)

代表: 03-5253-8111 直通: 03-5253-8500 FAX: 03-5253-1619

低金利を活用した関西国際空港の防災機能強化

- 現下の低金利状況を活かし、財政投融资を活用して、安心・安全な国民生活の礎を担う基幹インフラ(空港)の防災機能の強化を行う。

金利負担軽減の活用

超長期（40年）・固定の
財政融資1,500億円の追加

新関空（株）：270億円程度の
金利負担の軽減

防災機能強化に向けた事業の実施

（想定される事業）

○護岸嵩上げ・排水機能強化

○電源設備等の浸水対策 等

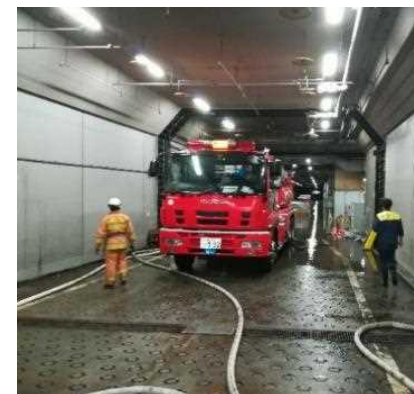
※関西エアポート(株)が実施する対策を
新関西国際空港(株)も1/2負担

事業（例）

台風第21号による浸水被害



<一部護岸の転倒>



<排水ポンプ車による排水
状況(第1ターミナル)>

対応方策

- ・護岸嵩上げ・排水機能強化による浸水対策
- ・電源設備等の浸水対策 等

低金利を活用した高速道路の機能強化の加速

- 昨年度に引き続き、財政投融资を活用して、①暫定2車線区間の機能強化による防災・減災対策、②生産性向上のための新名神高速道路の6車線化を行う。

金利負担軽減の活用等

超長期（40年）・固定の
財政融資1.0兆円の追加等



機構：7,000億円程度の
金利負担の軽減
⇒ 債務引受余力が増大



会社：投資余力が増大

(想定される事業)

- 重要インフラの緊急点検を踏まえ、防災・減災対策のための暫定2車線区間における4車線化等
- 生産性向上のための新名神6車線化

事業（例）

- 暫定2車線区間における4車線化等の実施
⇒ 発災時においても早期に交通機能を確保

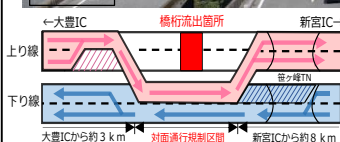
高知道の被災状況
平成30年7月豪雨



<4車線化による被災時の早期交通確保の例>

(高知道H30.7月豪雨)

- H4.1月 暫定2車線で開通
- H20.7月 4車線化完成
- H30.7月7日 上り線の橋梁流出
- H30.7月13日 対面通行により交通機能を確保



暫定2車線区間(有料)のうち、
対面通行区間[約1,600km]

緊急点検を踏まえた、土砂災害等の
危険性の高い箇所での4車線化等

